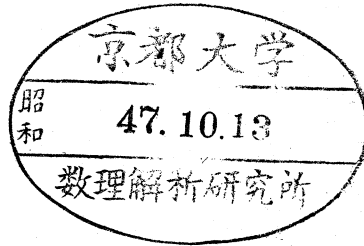


K-150

数理解析研究所講究録 160

位相解析的方法による
偏微分方程式の研究



京都大学数理解析研究所

1972年9月

位相解析的方法による偏微分方程式の研究
研究会報告集

1972年1月24日～1月26日

目 次

1. 一階楕円型方程式系の *non-coercive* 境界値問題 1
京大 数研 岩崎 敷久
2. 多項式係数偏微分作用素の値域が稠密でない例について . . . 5
広大 理 津野 義道
3. Martin 境界の拡散方程式への応用 12
東大 理 伊藤 清三
4. 双曲型混合問題に対する解の解析性の伝播について . . . 32
京産大 理 辻 幹雄
5. 双曲型混合問題の L^2 -well-posedness について 48
奈良女子大 坂本 礼子
6. Schrödinger 型作用素の正の固有値と一意接続定理 . . . 61
東大 理 増田 久弥
7. Banach lattice における非線型半群とその例 68
東大 理 小西 芳雄
8. 楕円型作用素の固有値分布と負の固有値について 79
東大 理 田村 英男